

補助事業番号 22-1-091

補助事業名 平成 22 年度 青少年の健全育成 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 日本棋院

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

囲碁の啓発・普及を通じて礼儀の習得、思考力の養成等青少年の健全な育成を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 学校指導員講習会の開催 期間 平成22年8月21日～平成23年3月3日

学校指導員講習会を入間市、函館市、湯沢市、品川区、岡山市、高松市、文京区、那覇市、伊勢市、千代田区、浦添市、大阪市、福井市、川口市、大仙市、北本市、大町市の17会場で実施し、述べ525名が参加した。

各会場には2名ないし1名のプロ棋士を派遣し、児童・生徒に囲碁を指導する教職員およびOB・OGに加え、青少年の囲碁指導に興味を持つボランティアを対象に、主に入門、初心者への指導のポイントを講義し指導を行った。



(平成23年1月15日 千代田区会場
左：時本 壹九段による講義の様子、
右：会場出入口付近)



右：会場出入口付近

② 全国高校囲碁選手権大会の開催 期間 平成22年7月26日～28日

第34回全国高校囲碁選手権大会全国大会は7月26日から28日までの3日間、東京の日本棋院本院に於いて開催し、全国47都道府県大会で選出された団体戦代表校（男子48校144名、女子44校132名）と個人戦代表選手（男子96名・女子49名）による予選リーグ、決勝トーナメント戦で男女とも1位から8位までを決定した。



(平成22年7月27日 男女個人戦
対局の様子)



(平成22年7月28日 男子個人戦決勝

愛知県代表 牧野瀬君 VS

京都府代表 大谷君)

2. 予想される事業実施効果

学校囲碁指導員講習会の開催では、入門・初心者への指導方法について理解を深め、知識を高める事によってよりの確な指導対応ができ、各学校でのクラブ活動の充実と囲碁人口の底辺の拡大に大きく寄与するものと予想される。

全国高校囲碁選手権大会の開催では、より高いところを目指して今後の目標を定める事が出来ると予想される。予選大会では入門者から高段者まで、普段は交流のない他校の同レベルの生徒と対局する事で、自らの棋力を客観的に把握しより具体的な目標を立てやすくすることができると予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

学校指導員講習会の開催

学校指導員ガイドブック 2,000部

全国高校囲碁選手権大会の開催

大会パンフレット 1,500部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人 日本棋院 （ニホンキイン）

住所： 102-0076

東京都千代田区五番町7-2

代表者： 理事長 大竹英雄（オオタケヒデオ）

担当部署： 普及事業部（フキュウジギョウブ）

担当者名： 吉野 文敏（ヨシノフミトシ）

電話番号：03-3288-8729

F A X : 03-3261-5841

E-mail : yoshino@nihonkiin.or.jp

U R L : <http://www.nihonkiin.or.jp/>